

こけのダム

去年、僕は屋久島に行きました。屋久島の森を歩きました。普段味わえない大自然を体験しました。見られない植物や大木、こけなどいろいろな自然の物を見ました。

しかし、雨がよくふり歩くのが大変でした。屋久島のガイドブックにも一ヶ月に三十五日雨がふるとかかれています。それほど、屋久島は雨が多くふります。

しかし、屋久島はなぜ、洪水がおこりにくいのでしょうか。しかも、屋久島は土が少なく地下にあまり水をためることができないそうです。

実は、洪水をふせいでいるのはこけでした。なぜ、こけが洪水をふせいでいるのでしょうか。

屋久島には土が少なく、岩が森の中にこ

奈良市立月ヶ瀬中学校 三年

藤原 弘士

ろごろあります。その岩にはえているのが、こけです。また、国語辞典で調べてみると、こう書いてありました。

・湿地類などの隠花植物の俗称。古木・岩石

たしかに、ふり返つてみるとこけが様々な所に生えています。古木は古い木なので、屋久島には千年をこえる木々がたくさんあり、こけが生えやすいです。また、岩石はさつきも言いました。屋久島には、たくさん岩石があり、こけが生えやすいです。湿地は、屋久島には雨がたくさんふっていて、しめつた平地となり、こけが生えやすいです。

では、なぜ、この多くのこけが洪水をふせいでいるのでしょうか。

こけは、湿地が好きです。そして、よく雨

がふる屋久島に生えて水をすいとっています。いわば、こけはスポンジです。こけは多くの水をすいとってくれます。しばらくして、こけは、水をだしていきませんが、洪水にはなりません。いっかい、こけが水をためることによって水は洪水しません。ダムがない屋久島ですが、こけがダムの役割をはたしています。だから、屋久島は洪水がおこりにくくなっている環境なのです。

日本本土はどうでしょうか。土地によっては、ダムがなく、地下で水をためて洪水がおこりにくくなっている土地もあります。しかし、今の日本には、たくさんダムがあります。

なぜ、日本にたくさんダムがあるのでしょうか。それは、洪水や濁水しないように作られています。また、発電や水道として使われています。こんなにいいことがあるなら、どんどん造ればいいじゃないか、と思いませんか。しかし、水をためているということは、水がよごれたりしてしまいます。また、きれいな川にしか住まない魚が住めなくなりす。

また、ダムは水がたまるので、水がたまる高さにはない家は、引っこししなければいけません。

このように、ダムは良い所もあり、悪い所もあります。ダムを造ることは、人を豊かにして、自然をこわすということです。

屋久島のコケのダムのように自然の力で洪水をふせげるとは良いです。また、環境にやさしいので良いです。

これからも、屋久島の自然をみんなで守っていくことが大切です。そして、日本中のダムが環境に良い、屋久島のコケのダムのようになることをいっています。